



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年11月4日

上場会社名 株式会社エフ・シー・シー 上場取引所 東  
 コード番号 7296 URL <https://www.fcc-net.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斎藤 善敬  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員事業管理統括 (氏名) 大石 安孝 TEL 053-523-2400  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年11月28日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	107,148	35.0	4,236	△23.9	5,723	△4.0	3,480	△17.2	3,374	△18.6	16,356	226.0
2022年3月期第2四半期	79,370	33.8	5,563	—	5,964	—	4,204	—	4,144	—	5,017	491.1

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	67.87	—
2022年3月期第2四半期	83.41	—

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	214,686	163,527	161,452	75.2	3,246.73
2022年3月期	195,364	148,532	146,625	75.1	2,950.09

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2023年3月期	—	26.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	218,000	27.5	11,500	14.4	13,400	12.2	8,600	△0.9	8,400	△1.8	168.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2022年11月4日）公表いたしました「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	52,644,030株	2022年3月期	52,644,030株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,916,364株	2022年3月期	2,941,879株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	49,712,331株	2022年3月期2Q	49,693,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2022年11月10日に第2四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する決算説明会資料については、同日当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	4
(2) 要約四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 要約四半期連結包括利益計算書 .....	7
(4) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(引当金及び偶発負債) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済状況は、持ち直しの動きが見られたものの、供給面での制約や物価上昇、金融資本市場の変動もあり、先行き不透明な状況で推移しました。自動車業界では、生産は回復基調にあるものの、半導体の供給不足による減産影響や原材料価格の高騰影響等が継続したことに加え、中国のロックダウンによる減産が影響しました。このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の業績は、減産影響があったものの、インドや米国の販売が増加したことや円安の影響もあり、売上収益は107,148百万円（前年同期比35.0%増）となりました。営業利益は、減産影響や原材料価格の高騰影響等もあり4,236百万円（前年同期比23.9%減）となりました。税引前四半期利益は5,723百万円（前年同期比4.0%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,374百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### (二輪車用クラッチ)

減産影響があったものの、インドの二輪車用クラッチの販売が増加したことや円安の影響もあり、売上収益は50,865百万円（前年同期比34.5%増）となりました。営業利益は、減産影響や原材料価格の高騰影響等もあり4,171百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

#### (四輪車用クラッチ)

減産影響があったものの、米国の四輪車用クラッチの販売が増加したことや円安の影響もあり、売上収益は56,283百万円（前年同期比35.4%増）となりました。営業利益は、減産影響や原材料価格の高騰影響等もあり790百万円（前年同期比48.4%減）となりました。

地域別の状況は、次のとおりであります。

#### (日本)

四輪車用クラッチの販売が増加したこともあり、売上収益は12,587百万円（前年同期比4.1%増）となりました。営業損益は、費用増加もあり498百万円の営業損失（前年同期は277百万円の営業利益）となりました。

#### (米国)

減産影響があったものの、四輪車用クラッチの販売が増加したことや円安の影響もあり、売上収益は43,222百万円（前年同期比49.5%増）となりました。営業利益は、減産影響や原材料価格の高騰影響等があったものの、増収効果もあり1,310百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

#### (アジア)

減産影響があったものの、インドの二輪車用クラッチの販売が増加したことや円安の影響もあり、売上収益は47,293百万円（前年同期比34.3%増）となりました。営業利益は、減産影響や原材料価格の高騰影響等もあり3,098百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

#### (その他)

円安の影響もあり、売上収益は4,045百万円（前年同期比28.5%増）となりました。営業損益は、メキシコの減産影響やブラジルの費用増加もあり53百万円の営業損失（前年同期は494百万円の営業利益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び資本の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は131,961百万円となり、前連結会計年度末に比べ16,951百万円増加しました。これは主に営業債権及びその他の債権が6,731百万円、現金及び現金同等物が4,737百万円、棚卸資産が4,477百万円増加したことによるものであります。

##### (非流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の非流動資産は82,725百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,371百万円増加しました。これは主にその他の金融資産が765百万円減少したものの、有形固定資産が3,047百万円増加したことによるものであります。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は39,456百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,879百万円増加しました。これは主に営業債務及びその他の債務が2,117百万円、引当金が1,367百万円増加したことによるものであります。

##### (非流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の非流動負債は11,703百万円となり、前連結会計年度末に比べ448百万円増加しました。これは主に退職給付に係る負債が157百万円減少したものの、繰延税金負債が455百万円、その他の非流動負債が169百万円増加したことによるものであります。

(資本)

当第2四半期連結会計期間末の資本は163,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,994百万円増加しました。これは主に利益剰余金が2,467百万円、その他の資本の構成要素が12,317百万円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は49,364百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7,487百万円となりました。主な増加の要因は、税引前四半期利益5,723百万円、減価償却費及び償却費6,805百万円、引当金の増加額1,367百万円によるものであります。主な減少の要因は、棚卸資産の増加額1,106百万円、営業債権及びその他の債権の増加額2,782百万円、法人所得税の支払額2,422百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は4,637百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4,427百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,635百万円となりました。これは主に配当金の支払額1,292百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2022年11月4日）公表いたしました「第2四半期連結累計期間の業績予想と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	44,627	49,364
営業債権及びその他の債権	34,203	40,935
その他の金融資産	2,413	2,714
棚卸資産	30,780	35,257
その他の流動資産	2,985	3,689
流動資産合計	115,010	131,961
非流動資産		
有形固定資産	60,029	63,076
のれん及び無形資産	3,805	3,676
持分法で会計処理されている投資	168	185
その他の金融資産	13,607	12,842
繰延税金資産	2,595	2,646
その他の非流動資産	146	297
非流動資産合計	80,354	82,725
資産合計	195,364	214,686

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	18,254	20,371
借入金	6,100	6,100
その他の金融負債	385	396
未払法人所得税	2,125	2,266
引当金	1,669	3,037
その他の流動負債	7,042	7,283
流動負債合計	35,577	39,456
非流動負債		
その他の金融負債	1,260	1,241
退職給付に係る負債	1,644	1,486
引当金	14	14
繰延税金負債	7,973	8,428
その他の非流動負債	362	531
非流動負債合計	11,255	11,703
負債合計	46,832	51,159
資本		
資本金	4,175	4,175
利益剰余金	132,252	134,720
自己株式	△4,764	△4,723
その他の資本の構成要素	14,962	27,279
親会社の所有者に帰属する持分合計	146,625	161,452
非支配持分	1,906	2,074
資本合計	148,532	163,527
負債及び資本合計	195,364	214,686

## (2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上収益	79,370	107,148
売上原価	△65,441	△92,362
売上総利益	13,928	14,786
販売費及び一般管理費	△8,520	△10,765
その他の収益	253	298
その他の費用	△98	△82
営業利益	5,563	4,236
金融収益	453	1,515
金融費用	△49	△22
持分法による投資損益	△3	△5
税引前四半期利益	5,964	5,723
法人所得税費用	△1,759	△2,243
四半期利益	4,204	3,480
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	4,144	3,374
非支配持分	59	106
四半期利益	4,204	3,480
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	83.41	67.87
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

## (3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期利益	4,204	3,480
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	0	393
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産の公正価値の変動	117	△388
計	117	5
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	696	12,874
持分法適用会社におけるその他の包括 利益に対する持分	△0	△4
計	695	12,870
その他の包括利益合計	812	12,876
四半期包括利益	5,017	16,356
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,918	16,085
非支配持分	98	271
四半期包括利益	5,017	16,356

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月1日時点の残高	4,175	125,943	△4,788	367	4,541
四半期利益	—	4,144	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	657	115
四半期包括利益合計	—	4,144	—	657	115
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
自己株式の処分	—	△0	23	—	—
配当金	—	△993	—	—	—
その他の資本の構成要素からの振替	—	1	—	—	△1
所有者との取引額合計	—	△993	23	—	△1
2021年9月30日時点の残高	4,175	129,095	△4,764	1,025	4,655

親会社の所有者に帰属する持分

その他の資本の構成要素

	確定給付制度の再測定	合計	合計	非支配持分	資本合計
				百万円	百万円
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年4月1日時点の残高	—	4,908	130,239	1,756	131,996
四半期利益	—	—	4,144	59	4,204
その他の包括利益	0	773	773	39	812
四半期包括利益合計	0	773	4,918	98	5,017
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	22	—	22
配当金	—	—	△993	△129	△1,123
その他の資本の構成要素からの振替	△0	△1	—	—	—
所有者との取引額合計	△0	△1	△971	△129	△1,101
2021年9月30日時点の残高	—	5,680	134,186	1,725	135,912

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産の公正価値の変動
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年4月1日時点の残高	4,175	132,252	△4,764	10,480	4,481
四半期利益	—	3,374	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	12,700	△383
四半期包括利益合計	—	3,374	—	12,700	△383
自己株式の取得	—	—	△0	—	—
自己株式の処分	—	△7	41	—	—
配当金	—	△1,292	—	—	—
その他の資本の構成要素からの振替	—	393	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△906	41	—	—
2022年9月30日時点の残高	4,175	134,720	△4,723	23,181	4,098

## 親会社の所有者に帰属する持分

	確定給付制度の再測定		合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円			
2022年4月1日時点の残高	—	14,962	146,625	1,906	148,532
四半期利益	—	—	3,374	106	3,480
その他の包括利益	393	12,711	12,711	165	12,876
四半期包括利益合計	393	12,711	16,085	271	16,356
自己株式の取得	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	33	—	33
配当金	—	—	△1,292	△103	△1,396
その他の資本の構成要素からの振替	△393	△393	—	—	—
所有者との取引額合計	△393	△393	△1,258	△103	△1,362
2022年9月30日時点の残高	—	27,279	161,452	2,074	163,527

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,964	5,723
減価償却費及び償却費	6,329	6,805
金融収益及び金融費用	△443	△1,034
持分法による投資損益 (△は益)	3	5
固定資産除売却損益 (△は益)	12	14
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,073	△1,106
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	4,438	△2,782
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△683	422
退職給付に係る負債の増減 (△は減少)	189	118
引当金の増減額 (△は減少)	—	1,367
その他	△1,021	△24
小計	10,714	9,510
利息及び配当金の受取額	355	385
利息の支払額	△15	△6
法人所得税の支払額	△2,672	△2,422
法人所得税の還付及び還付加算金の受取額	495	19
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,878	7,487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,255	△863
定期預金の払戻による収入	1,261	1,368
有形固定資産の取得による支出	△3,732	△4,427
有形固定資産の売却による収入	107	33
無形資産の取得による支出	△566	△429
貸付けによる支出	△52	△38
貸付金の回収による収入	60	49
投資の取得による支出	△214	△268
投資の売却及び償還による収入	1	—
その他	△16	△62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,406	△4,637
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,093	—
リース負債の返済による支出	△365	△239
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△993	△1,292
非支配株主への配当金の支払額	△129	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,582	△1,635
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,888	1,214
現金及び現金同等物の期首残高	39,607	44,627
現金及び現金同等物に係る換算差額	151	3,523
現金及び現金同等物の四半期末残高	41,648	49,364

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、二輪車用クラッチ事業については主に二輪事業統括が、四輪車用クラッチ事業については主に四輪事業統括がそれぞれ国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業を展開しております。したがって、当社グループは、「二輪車用クラッチ」及び「四輪車用クラッチ」の2つを報告セグメントとしております。「二輪車用クラッチ」は、オートバイ、スクーター及びA T Vのクラッチ等を生産しております。「四輪車用クラッチ」は、マニュアル車及びオートマチック車のクラッチ等を生産しております。

(2) 報告セグメントの収益及び業績

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

	報告セグメント			調整額(注)	連結
	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計		
	百万円	百万円	百万円		
売上収益					
外部収益	37,815	41,555	79,370	—	79,370
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	37,815	41,555	79,370	—	79,370
減価償却費及び償却費	△2,544	△3,721	△6,265	△63	△6,329
その他の損益	△30,720	△36,302	△67,023	△454	△67,477
営業利益	4,549	1,531	6,081	△517	5,563
金融収益					453
金融費用					△49
持分法による投資損益					△3
税引前四半期利益					5,964

(注) セグメント損益の調整額は、各報告セグメントに配分していない新事業開発費用であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

	報告セグメント			調整額(注)	連結
	二輪車用クラッチ	四輪車用クラッチ	合計		
	百万円	百万円	百万円		
売上収益					
外部収益	50,865	56,283	107,148	—	107,148
セグメント間収益	—	—	—	—	—
合計	50,865	56,283	107,148	—	107,148
減価償却費及び償却費	△2,767	△3,977	△6,745	△59	△6,805
その他の損益	△43,926	△51,515	△95,441	△664	△96,106
営業利益	4,171	790	4,961	△724	4,236
金融収益					1,515
金融費用					△22
持分法による投資損益					△5
税引前四半期利益					5,723

(注) セグメント損益の調整額は、各報告セグメントに配分していない新事業開発費用であります。

## (引当金及び偶発負債)

主な引当金の増減内容は以下のとおりであります。

	製品保証引当金
	百万円
2022年4月1日	1,669
期中増加額	1,367
期中減少額(目的使用)	—
期中減少額(戻入れ)	—
2022年9月30日	<u>3,037</u>
流動	<u>3,037</u>

(注) 製品保証引当金は、当社が米国において特定顧客に納入した一部製品に関連した不具合について、現時点において収集可能な情報、及びその情報が合理的な事実に基づくものであると判断された改修費用を計上しており、「発生件数」の見積りに「1台当たりの改修単価」の見積りを乗じて算出しております。当社は当該改修費用に関して、既に引当金を計上しているものを除き、現時点において予想される財務上の影響額について信頼性のある見積りをすることはできません。当該見積りを行うにあたっては、将来改修が必要となる数量等の複数の要素を考慮する必要がありますが、過去において類似の事例がなく、かつ現時点においては当件にかかる不具合発生件数の実績が十分でない為、見積りの基礎となる改修数量等の算定が困難なためです。今後の進捗により、追加で引当金を計上することとなった場合には、当社の連結業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。